

地域小規模施設 あおぼ 海水浴

もうすっかり聞き慣れてしまった「命に関わる危険な暑さ」の中、伊東市最南端の穴場スポット「赤沢海岸」へ行ってきました。連日の暑さに辟易していた子どもたちは、この日が来るのを楽しみにしていました。

このビーチはお客さんも少なく、貸し切りのような状態で子どもたちは大はしゃぎでした。波打ち際の砂で首から下を埋め合ったり、波に立ち向かい飛び跳ねたりと、たっぷり楽しい時間を過ごせました。また、少し離れた港に場所を移し、そこにある高い堤防から海へダイブするなど人が少ないからこそできる体験もしました。

堤防は砂浜と比べ海面が綺麗で小魚やタコも泳いでお

り、子どもたちは喜ぶかなと思いましたが、意外にも怖がり、今日一番のスピードで逃げていきました。3時間弱と短い時間でしたが子どもたちは夏の海を存分に楽しむことができました。 保育士 小川祐輝



ありがとう 寄付

- 高橋 岳志様
- 門司 一徹様
- 小野田 孝男様
- 吉川 妙子様
- 株式会社ファーストリテイリング様
- 株式会社アシベ商事様
- 北里コーポレーション様
- 株式会社アシベ商事様
- 木内建設株式会社様
- 菊間ナスカファーム様



川奈臨海学園基本理念

子どもの最善の利益のため、子どもたち一人ひとりが尊重され、心身ともに健やかに育成され、将来健全な社会の一員として自立できるよう支援を行う

交流会

- 木工ボランティア 菱田夫妻様
- 学習ボランティア 紀藤信哉様
- 散髪ボランティア 野口伏美様
- 伊石裕司様

ボランティアさんの様々な活動で子どもたちに楽しいひと時を提供していただいております。みなさまのご協力には大変感謝しております。

お知らせ 帰省期間

- 9月20日～ 9月23日
- 10月11日～10月14日
- 11月 1日～11月 4日

帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ連絡しております。

尚、予定されている帰省期間は、感染症の流行状況に応じて変更する可能性がありますので、ご承知おきください。

令和6年度 学園だより 夏号 第572号

旅館「青山やまと」様からのご招待

6月19日伊東温泉旅館「青山やまと」様より、将来を担う子どもたちに地元の観光業や宿泊業について知ってもらいたいという思いから旅館体験のご招待を受けました。旅館に到着し若女将、支配人から館内や入浴の説明を受け、お肌がスベスベになると評判の「せいざんの湯」を堪能しました。食事前には料理長によるだし汁の取り方講座が開かれ、子どもたちは真剣な眼差しでだし汁を取る工程を眺めていました。出来立てのだし汁と地

元の食材を使った懐石料理が振る舞われ、満面の笑みを浮かべていました。食事後に行われた質問コーナーの時間では、仕事のやりがいや接客で気を付けるポイント等各々気になる事を質問させていただき、働くとはどういった事が働く人のマナー等についても学びました。

贅沢な料理と広々とした温泉で心も身体も満たし、実際に働く人の話を聞くことができ、とても貴重な経験となりました。 児童指導員 上原玲也



男子ユニット カヤック体験

今年も暑い夏がやってきました。こんな暑い季節には、水遊び!!という事で202ユニットは函南町の狩野川までカヤック体験に行ってきました。

この日の気温は35℃近くあり、現地に着くと強い日差しが照り付けていました。ガイドさんに各装備品の説明を受け川に入りました。カヤックを漕ぐ練習をし、川の説明を受けたら、いよいよ出発です。川の流れは、穏やかで、所々流れが激しくなる箇所もありましたが、子

どもたちは川からの景色やスリルを味わっている様子が窺えました。途中、気分転換に浅瀬で川遊びも楽しみました。施設では海で遊ぶ事はありますが、川遊びは中々できない体験で子どもたちのとても楽しそうにはしゃいでいる姿が印象的でした。

自然に囲まれた川の上で気分もリフレッシュできる充実した時間を送る事ができました。

保育士 加藤 幸大



連絡事項

身長		cm
体重		kg

編集・発行

川奈臨海学園

〒414-0044 伊東市川奈 509-7

TEL 0557-45-0509 FAX 0557-45-5169

E-mail rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp

URL https://www.saiseikai-kawana.jp

小学生男子ユニット 夏の花火

容赦のない陽射しに晒され続けた空気が漂い続ける夏の夜。102ユニットでは手持ち花火を行いました。

夜に出かける機会の少ない子どもたちは、ライトで足元を照らしつつ、職員の服の裾をギュッと握りしめ、楽しみな気持ちはあっても、少し怯えた表情で花火を行う敷地外の広場へと歩いて行きました。職員から配られた手持ち花火をろうそくに灯した火へ恐る恐る近づけると花火が暗闇を彩るように輝き、子どもたちの表情も瞬く

間に明るくなりました。袋から取り出した直後は、見た目にあまり差異が無い花火が、火を灯した瞬間どのように彩るのか、子どもたちの好奇心は留まる事を知らず、友だちの花火の火を借りては次々に試していました。互いにお気に入りの花火を見せ合いながら、暗い夜をカラフルに彩り、子どもたちにとって思い出の1日となりました。

児童指導員 長橋洗太



女子ユニット 電車で沼津へ!

7月28日電車を利用し、沼津のアニメイトと沼津の夏祭りに行きました。

アニメイトに着くと、子どもたちは目を輝かせながら、自分の推しキャラクターに一直線。それぞれ欲しい物を買いました。何が出るか分からないランダムの商品を開封し、自分の推しが出て喜んでいました。

アニメイトのあとは屋台で昼食を食べました。色々な屋台があり、それぞれ何を食べるか悩んでいましたが自

分が食べたい物を見つけ、お腹いっぱいになるまで食べていました。沼津駅まで向かう帰り道、ラブライブのスタンプラリーが色々な所に設置されていた為、スタンプ集めも行いコンプリートは出来ませんでしたが、楽しみながら駅まで向かうことができました。

普段は車でのお出が多く、電車だからこそ見つけられた物もあり、電車外出は子どもたちにとって貴重な1日となりました。

保育士 土屋菜織



地域小規模施設 わかな ボウリング

わかなでは夏休みのイベントとしてらぼーと沼津へボウリングに行きました。今回初チャレンジの児童2人と数回経験のある児童2人の計4人の児童対職員2人の合計スコアで対決することにしました。まずはボウリングの球選びですが、どれを選べばいいのか解らず困っていると、ボウリング場の方が指に合う穴の大きさの選び方を丁寧に教えて下さりました。なんとか各自ボールを選びレーンへスタンバイし、小学生のみガード防止バンパーを利用しゲームをスタート。初心者2人は投げ方

が解らず戸惑っていましたが、職員が教えたり他児の投げ方を真似しながらボールを投げると、スーッとピンに吸い込まれるように当たり大喜び。4人とも予想以上のスコアが出そうな好調な様子だったので、児童の上位3人の合計スコアで対決することに変更。わずかなピン差で最終フレームを迎え大盛り上がりとなり、結果は職員チームが4ピン及ばず児童チームの勝利となりました。子どもたちは大喜びで、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。

保育士 菅原波留美

賀茂地区里親会 川遊び&バーベキュー

夏休みも終盤に差し掛かる8月19日、賀茂地区里親会との交流会を、伊豆市湯ヶ島にある「水恋鳥広場」にて行いました。朝から天候にも恵まれ、川遊びやマスの掴み取り、バーベキューにピザ作りと、楽しいイベントを思い切り満喫させていただくことができました!

掴んだマスは、その場で塩焼きにさせていただき、魚な子も「美味しい!」と言いながら食べていました。体験することの大切さを、改めて感じさせられた場面でした。

水恋鳥広場の前を流れる本谷川の清流は、下流にはさらさらと流れる浅瀬があり、子どもたちは冷たい水でも、心ゆくまで川遊びを楽しんでいました。子ども用のライフジャケットを無料で貸し出させていただくこともでき、浅瀬であっても水深1mほどある場所がありましたが、安心して遊ぶことができました。

バーベキューやピザはどれも美味しく、中でもピザは前日から生地を作ってきてくださり、もちもちの生地に、ハム・コーン・ウィンナー・ピーマン・玉ねぎ・キノコ・あんこもあり、子どもたちが好きな具材をトッピングして作って食べたため、大好評でした。

マスの掴み取りでは、最初は「魚を手で掴むなんて絶対嫌だ!」と言っていた子も、網を使って捕まえることから始めて、最後には手で掴むことができ、1人3匹ずつ捕まえる目標を全員達成することができました。

たくさん遊んでいただき、ごちそうしてもらい、大人も子どもたち一緒に楽しい一日を過ごすことができました。

夏休みの最高の思い出となる時間を作ってくさった、賀茂地区里親会の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

里親支援専門相談員 鈴木志穂



